

## 令和5年6月（第2回）経営協議会（持ち回り）議事要旨

日 時 令和5年6月5日（月）～6月9日（金）

回答者数 15 / 15

### 1 審議事項

#### (1) 教育学部附属学校園の学級定員の適正化について 【資料1】

持ち回り審議の結果、資料1のとおり教育学部附属学校園の学級定員の適正化について原案のとおり承認された。本件は、役員会で審議することとなった。

なお、委員からの意見は以下のとおり。

#### 委員からの意見

- 6月5日に資料を送付され、6月9日までに回答せよとのことであり、実質平日の4日間で、このような専門的な議題について理解及び見解をまとめることは不可能であった。従って資料を十分検討することはできていないが、文科省への提出期限との関係から、一応大学側の提案を信用し、承諾することとした。

しかしながら内容的に緊急性はうかがわれず、なにゆえ本来の会議を二週間後に控えたこの時期に慌ただしく書面決議に付したのか、その手続の正当性に疑問が残る。

なお、このように専門外の事項に関し、検討するための時間も与えられず、大学側への質問もできない状況で結論を出さざるを得なかったことについて、経営協議会委員としての責務を果たしているのか、忸怩たる思いが残ることは否定できない。

- 近隣の公立学校の実情に合わせて学級定員を削減することは、教育実習生と担任の双方ともに、教員の指導力の維持・向上の面で懸念を覚えるが、一方で、教員研修や実習生受け入れのため学級数を維持する必要性や、教職員の心身の健康の保持増進を考えると、今回の貴学の対応はやむを得ないと思われる。

貴学におかれては、定員削減後においても教員の指導力の向上を目指して、さらなる取組がなされることに期待したい。